



SENDAI JUNIOR ORCHESTRA

第52回 住友商事ヤング・シンフォニー

ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ

with 仙台ジュニアオーケストラ 特別演奏会

——— 東日本大震災復興支援チャリティーコンサート ———

2012年 11月 18日 (日)

開場 13:30 開演 14:00

名取市文化会館

仙台空港アクセス鉄道「杜せきのした」駅より徒歩8分、
JR名取駅より徒歩17分

全席自由：[一般]11,000円 [高校生以下] 500円

前売所

名取市文化会館 / 名取駅コミュニティプラザ
藤崎 / 仙台三越
チケットぴあ ☎0570-02-9999 [Pコード:180-378]
ローソンチケット ☎0570-084-002 [Lコード:28050]
イープラス <http://eplus.jp>

お問い合わせ

名取市文化会館 ☎022-384-8900
住友商事(株) 環境・CSR部 ☎03-5166-3536



● 指揮とお話 齋藤 真知亜
(NHK交響楽団 次席ヴァイオリン奏者)

● 曲目

シベリウス / 交響詩「フィンランディア」

スメタナ / 連作交響詩「わが祖国」より
“高い城” “モルダウ”

ドリーブ / バレエ音楽「シルヴィア」より
“バッカスの行列”

ブリテン / シンプル・シンフォニー

ハチャトゥリアン / バレエ音楽「ガイーン」より
“剣の舞” “子守唄” “バラの乙女たちの踊り” “レスギンガ”

● 9/8 (土) チケット販売開始!

※チケット売上は、住友商事が同額をマッチングして、
「あしなが東北レインボーハウス建設募金」に寄付させていただきます。

■主催：住友商事株式会社 ■共催：財団法人 名取市文化振興財団 ■後援：名取市 / 名取市教育委員会 / 公益財団法人 仙台市市民文化事業団

JUNIOR PHILHARMONIC ORCHESTRA



ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ(東京)



ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラは、1972年に作曲家、そして指揮者であった塚原哲夫の「オーケストラ活動を通して時代を担う若者の健全な成長に役立ちたい」との想いのもと、10才から20才の86名の団員が集まり創立されました。優れた演奏を成すことを第一の目的とし、創立以来300回近くに及び活発な演奏活動を行う、日本で最も歴史のあるユース・オーケストラのひとつです。

塚原哲夫の後を継いだ山本直純が23年間にわたって指導、のべ1,000人近い卒団生の中からは第一線で活躍する演奏家も数多く誕生し、指導者となり、ここで学んだことを次世代へと伝えていきます。

東京を中心とした国内での演奏活動の他にも、2003年にはロンドン、プラハ、2008年には北京にて演奏会を開催する等、国際親善を目的としての海外公演、並びに指導者等の招聘も積極的に行っています。1992年からは住友商事の活動支援を受け、「住友商事ヤング・シンフォニー」を全国各地で年数回開催、今回で52回目を迎えます。

住友商事は1992年よりジュニア・フィルハーモニック・オーケストラの活動を支援しています。

仙台ジュニアオーケストラ



仙台ジュニアオーケストラは、仙台市の音楽文化の一層の振興と発展を図ることを目的に平成2年5月に発足した公立のジュニアオーケストラです。

団員は、公募で選ばれた小学校5年生から高校2年生までの児童・生徒で構成されています(平成24年6月13日現在114名)。弦楽器と木管・金管楽器をそれぞれ4パート、それに打楽器を加えた13のパートを備えるフルオーケストラです。

音楽監督に国内外で活躍中の関谷弘志氏を、また講師には仙台フィルハーモニー管弦楽団のメンバーを迎え、仙台市青年文化センターを会場に、月4回程度の練習を行っています。プロのオーケストラの団員による指導を常時受けられるという点は、仙台ジュニアオーケストラの設立以来の大きな特徴となっています。

活動の中心は、秋の定期演奏会と春のspringコンサートです。平成18年から平成20年までは「仙台クラシックフェスティバル」に、平成23年は、仙台クラシックフェスティバル「街なかコンサート」にも出演し好評を博しました。これらの演奏会に向け、通常の練習に加え、夏期合宿や冬期集中練習などを行っています。また他都市のジュニアオーケストラとの交流も行っており、最近では2010年8月に「ジュニアオーケストラフェスティバルin新潟」に参加するなど、幅広い活動をしています。

指揮：齋藤真知亜



1962年東京生まれ。6歳より西崎信二氏の手ほどきによりヴァイオリンを始める。1985年、東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京芸術大学を首席で卒業。同年芸大オーケストラ定期演奏会のソリストに選ばれる。NHK新人洋楽オーディション合格。1986年、NHK交響楽団に入団。1991年、津田ホールにて初リサイタル、好評を博す。

1999年からは自主企画リサイタル「viologue (violin+dialogue)」を毎年開催し、様々な楽器との共演や、軽妙なトークは回を追う毎にファンを増やしている。2006年より大谷康子・百武由紀・荻田雅治ら東京音楽大学の教員諸氏とともに弦楽四重奏団「Quattro Piaceri」を始動。ショスタコーヴィチ全曲演奏を目指した活動が評価され、2010年に第65回文化庁芸術祭 音楽部門 大賞を受賞した。2007年からは、店村眞積・藤森亮一・大宮臨太郎らN響主軸メンバーらと「N響メンバーによるヴィルトゥオーゾカルテット」を結成。バルトーク全曲シリーズを始動。西崎信二、奥田富士子、兎束龍夫、海野義雄、二村英之、山口裕之の各氏に師事。

またヴァイオリン以外の様々なジャンルでも活動しており、ジュニア・フィルでは指揮者として、文京シビックホール/サントリールホール/東京オペラシティでデビュー。最近では自らの馬頭琴・口琴演奏を織り込んだコンサートも行い、垣根の無い音楽活動は、多方面より注目を集めている。

TaRaGaレーベルより「シェーンベルク/月に憑かれたピエロ」、Vapレーベルより「ザ・ビートルズ・オン・ストリング・カルテット」、アニプレックス/SUGIレーベルより「弦楽四重奏による<ドラゴン・クエスト>」を各リリース。

現在NHK交響楽団第一ヴァイオリン・次席奏者、東京音楽大学非常勤講師。

みんなが幸せになる社会をつくりたい。世界中の子供たちが、未来を待ち望むような社会を、たとえば、その国に暮らす人たちのために学校や病院をつくりながら事業を成功させていく。森や生き物を守れるしくみを考える。今あるものに、知恵やアイデアを加えて、社会をもっと幸せにしていく。それが私たち住友商事の考えです。



豊かな未来を、たしかな仕事でカタチにします。



住友商事

<http://www.sumitomocorp.co.jp>